へき地手当改善に係る学校現場の受け止めについて

義務教育課

◆へき地への通勤は時間も通勤費もかかって苦労もありますが、今回、手当が見直されたことは、大変ありがたく感じています。ありがとうございました。**【北信・50 代養護教諭】**

◆通常の買い物等も時間がかかり、冬の灯油タンクや雪かき等、この地ならではの購入物も多い中、手厚く手当を考えていただき、正直、仕事のへのモチベーションが上がりました。他の同僚からも、「配慮していただきありがたいね」「赴任する人の負担が減る」といった声がありました。**【北信・20 代教諭】**

◆嬉しいです。職場でも「上がったね！」と話題になりました。【北信・20 代講師】

◆19 年越しに国基準に回復して本当に良かった。若い先生たちからも「こんなに上がるんだ！」という喜びと驚きの声が聞こえてきた。今年度から再任用となった私にとっては、支給率の回復に合わせて、再任用者にも新たに支給されることにもなったため二重の喜びだった。欲を言えば、へき地特昇の回復についても検討してほしい。**【北信・60 代事務職員】**

◆本小学校区は標高が高く、冬はマイナス20度にもなる地域です。老朽化している教員住宅は、断熱性が低く、一晩中ストーブをつけていないと、寒くて夜中に目が覚めるほどです。冬場の光熱費は、この物価高の時にあって、大きな負担でした。しかし、へき地手当てを見直していただき、大変助かりました。安心して生活・勤務できます。本当に感謝です。ありがとうございます。**【東信・40 代教諭】**

◆4月の給与明細を確認した教職員から「へき地手当ってこんなにもらえるんですか！？」と喜びの声があがりました。自分事のように嬉しかったです。それと同時に先輩たちが 19 年間たゆまず声をあげ続けてくださったこと、知事や県教育委員会もそれに答えてくださったこと、この記念すべき瞬間に当事者として立ち会えたこと、色々な思いがこみあげてきて涙がでました。**【東信・30 代事務職員】**

◆通勤に時間がかかるので、体力的にも精神的にも辛いですが、今回へき地手当が改善されて、「私がへき地で頑張っているのをちゃんと見てもらっている」と思うことができました。**【東信・40 代講師】**

◆「やっと実現したんだぁ。この学校にいるメリットを若い先生方にも感じてもらいたい」**【中信・50 代教諭】**

◆「手当が出ることは正直、嬉しいし、このような場所に様々な先生方が異動してくるきっかけになってほしいし、この地に住む子どもたちにも素敵な出会いにつながってほしいなぁ。」**【中信・40 代・教諭】**

◆「近隣県並み」で終わることなく、より多くの人がへき地校での勤務に関わりやすくなるよう、更なる支給率のアップを目指してもらいたい。**【中信・50 代教諭】**

◆「こんなに上がるんだ」「へき地でもがんばろう」と思った。**【中信・20 代講師】**

◆へき地では、車が必需品です。買い物に行くにも、出張に出るにも長距離走行となります。また、冬期間の塩カル散布等、車への影響も大きく、燃料やタイヤ等の維持費が大変です。へき地手当を上げていただいたことで、経済的にも精神的にも負担が減りました。これでへき地での勤務もやりがいを持って安心して頑張ることができます。**【南信・30 代教諭】**

◆支給額が5倍以上になって職員室で歓喜の声が聞かれた。新卒者が多く、給料の改定と併せて給料の額に驚いていた。学校に近い教職員住宅を3～4人が使用しており、「準ずる手当」も上がって喜んでいる。これならへき地でがんばる甲斐があります。**【南信・20 代教諭】**